

薪炭も困炉裏もありて井戸に汲む

これらはすべて究極のエコ

一本の桜の道を歩むとき

宮城道雄の琴鳴りはじむ

一本の上枝下枝を分けて咲く

紅白梅のなびく垂り尾

日の中の小網代の森ふかぶかと

一帯一路の木道のあり

島ひとつ埋めのこして春潮の

ふくらみ去りぬ館山の沖

春一番すぎてはなやぐ花の国

令和ゆかりの梅香りたつ

コロナ禍に不景気となりはてもなし

駅前通りも駅裏路地も

秦 孝浩